

その先へ——いくつもの壁を越えて。

炭 鉱山閉山後に人口が半減し、国から過疎地域に指定されている福智町。しかし新法制度で基準年がスライドするため、指定から除外される可能性が出てきました。今後も町では国から7割が還付される「過疎債」を活用した事業が多く計画されており、指定除外されると多額の事業費を町で負担しなければならず、一層の財政圧迫が予想されます。

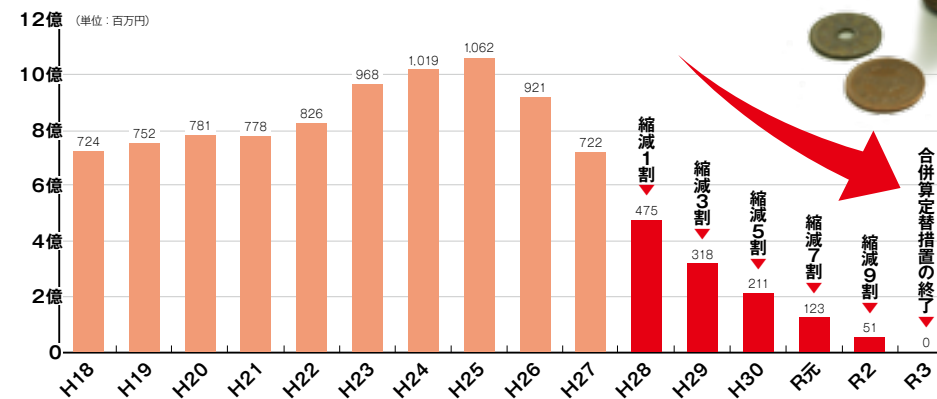
壁 過疎地域からの除外

現在までに過疎債を利用して実施した事業例

- ▶ 平成筑豊鉄道経営安定化補助事業
- ▶ 金田小・中学校改築事業
- ▶ 町内学童クラブ整備事業
- ▶ 少人数学級編成事業
- ▶ 福祉バス運行事業
- ▶ 町道整備事業 など



合併算定替効果の推移【平成18年～令和3年】



旧 3町が合併した福智町は、普通交付税の算定時に通常の算定額と合併前の市町村で算定した合計額との差額分を上乗せして分配する合併算定替効果として、現在まで合計97億円もの恩恵を受けてきました。しかし、合併特別措置は15年で終了するため、合併して16年目を迎える来年度からは、今まで余分に配分されてきた財源が確保できなくなります。

壁 合併特別措置の終了



合併後の町職員の手による道路補修。旧町時代から続く経費削減策は、財政再建に向かう福智町の象徴的な姿として、全国から注目を浴びました。

合併特別措置の失効や過疎地域の除外検討に、コロナ危機が加わった「三重苦」。来年度以降、危機を迎える私たちの町は、存続をかけた転換期に差しかかっています。

この町に再び立ち上がるには、未曾有の巨大な壁。その壁を突破するために、「2度目の倒産は絶対にしない」という、確固たる決意と対策が求められています。

これまで「炭鉱閉山」「財政再建」「市町村合併」と、いくつもの壁を乗り越えてきた福智町。しかし下げ止まりの見えない人口減少により、年々財政面の厳しさを増す中、来年度には、合併算定替などの特別措置が終了。過疎地域からの除外も検討されるなど、財政状況の悪化が重なっています。そのような中、さらに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスが国内で拡大。経済の停滞で生じた景気後退により、来年度の町税や地方交付税が激減する

ことが予測されるなど、苦境に立たされています。現在は、ふるさと納税の寄付金や基金の取り崩しで何とか町の予算を確保できている状況ですが、深刻化する人口減少や社会経済の減退から、今後の税収増加は期待できません。その上、頼みの綱である基金も現在のペースで取り崩しを進めると、10年以内には枯渇。「100%を超え」とされる経常収支比率は、今後数年で100%を超えると予想されています。

幾多の壁を乗り越えた町が「コロナ危機」で、未曾有の壁に直面しています。「2度目の倒産は絶対にしない」。過去の教訓を生かした回避策で、目の前の壁に挑みます。

挑む揺るぎない覚悟で 挑む三重苦の突破



北海道夕張市 厚谷 司 市長 インタビュー

全国唯一の財政再建団体 北海道 夕張市 **福智町から学んだ教訓を胸に財政再建を実践しています**

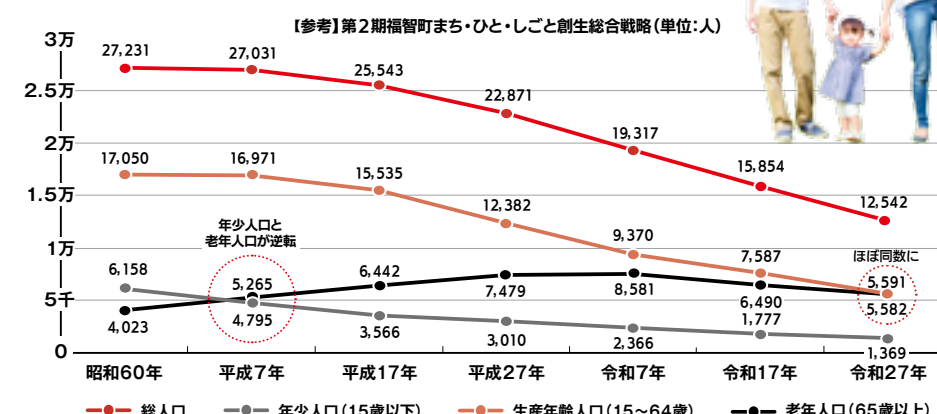


夕張市も福智町と同様に炭鉱閉山後の活路を見出すことができず、平成18年に財政再建への道を決断しました。再建が終了する令和11年度までは、行政サービス手数料の引き上げなど、市民の皆さまにご理解・ご協力をいただきながら総額353億円の赤字解消に向けて歩みを進めている途中です。平成18年に旧赤池町での視察で学んだ「行政と住民連携による再建」が夕張市の実践につながっています。再建への道筋を示してくれた福智町が、その培った地域力を、さらなる壁を越えることを信じています。



「幸福の黄色いハンカチ」をはじめ、数々の映画の舞台となった「映画の街」として知られる夕張市。

福智町の年齢区分別人口推移【S60～R27】



ど の年齢区分においても昭和60年から人口減少が続いている福智町。その課題の深刻化に伴い、町税や地方交付税なども減収しています。今後も歯止めのかからない人口減少から、町財政が厳しさを増すことが予想されています。そのような中、コロナ危機の影響で、より一層の歳入減少が予想されており、来年度以降の予算編成が見通せない状況に直面しています。

壁 人口減少とコロナ危機